

郷土を語り  
人々の輪が広がる

# 東京奈良県人会レター

編集発行所：一般社団法人 東京奈良県人会 発行人：楢本 俊洋（2018年冬号）

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-6-3 奈良県東京事務所内 電話 03-5210-2838 HP: <http://tkynarakenjinkai.jimdo.com/>

TOKYO NARA HUMAN NETWORK NEWS NO. 44

## ●● 平成30年度 文化交流会 ●●

### 桂文鹿さんの落語公演

東京奈良県人会（楢本俊洋会長）の平成30年度文化交流会は9月25日（火）午後6時30分から、東京都千代田区の都道府県会館で開かれた。小池弘悌・葛城市相撲館長の講演と奈良市出身で上方落語の噺家桂文鹿（かつら・ぶんろく）さんの落語公演に会員約70人が参加した。

小池館長は古事記や日本書紀の相撲神話から相撲の開祖で同市（旧当麻町）出身といわれる當麻蹶速（たいまのけはや）伝説について解説、同館の取り組みを紹介した。続いて、会場に設営された高座に登場した桂文鹿さんは自身の幼少期のエピソードを交えながら県民性を面白おかしく語ったほか、「鹿政談」「鼠穴（ねずみあな）」など奈良にまつわる古典落語と紙相撲を題材にした新作落語を披露。参加者はその話芸に引き込まれ、会場は笑いに包まれた。

公演後、会場を同館地下1階の上海大飯店に移し交流会を開催。小池館長と文鹿さんを囲んで夜がふけるのも忘れて大いに盛り上がった。



奈良にまつわる演目を披露する桂文鹿さん

## ●● 平成30年度 ふるさと奈良の集い ●●

### 奈良県出身者ら300人が一堂

首都圏在住の奈良県出身者やゆかりの人たちの交流会「ふるさと奈良の集い」（奈良県、東京奈良県人会主催）が11月8日（木）午後6時30分から、東京都品川区の東京マリオットホテルで開かれた。荒井正吾知事や川口正志奈良県議会議長、県内の各首長や市町村議会議長、奈良県選出国會議員ら約300人が出席した。

冒頭、荒井知事は「奈良は変わりつつある。ぜひふるさとに注目してもらい、時々帰ってきてほしい」と呼びかけた。楢本俊洋東京奈良県人会会長は「関東在住の仲間が集まり古里を懐かしみ、語り合いたい」とあいさつした。青柳正規奈良県文化政策顧問（元文化庁長官）の乾杯で開会した。

会場には三輪そうめんや大和野菜、大和肉鶏やヤマトポークなど県産食材をふんだんに使った創作料理や地酒が振舞われた。途中、吉野スギ製バイオリンによるミニコンサートが行われ、会場は華やいだ雰囲気になった。

参加者は名刺交換するなどして同郷の仲間とふるさとを懐かしんだ。奈良市出身で都内在住の会社社長敷田みほさんは「東京でご活躍の皆さんと出会うことで良い刺激を受けた」と笑顔で話した。



あいさつする楢本会長

## ●● 若手の会 第24回例会 ●●

**奈良の相撲とちゃんこ**

「奈良の相撲とちゃんこ」をテーマに9月5日(水)午後7時から東京都中央区の奈良まほろば館で開催。奈良県が相撲の起源であるという話とちゃんこ鍋を味わった。

第1部は、桜井市まちづくり推進部観光まちづくり課主幹の山内篤生さんが桜井市と葛城市、香芝市にまつわる相撲伝説を説明し奈良県が相撲発祥の地であることをPRした。日本書紀には垂仁天皇7年7月7日に桜井市の「野見宿禰」(のみのすくね)と葛城市の「當麻蹶速」(たいまのけはや)の天覧相撲が行われたと記されている。互いに足を上げて蹴り合う長い戦いの末、けはやは命を落とした。けはやが投げ飛ばされた地が現在の香芝市であると解説した。第2部では、相撲とは切っても切れない料理「ちゃんこ鍋」が振舞われ、参加者は奈良県出身で現在、十両で活躍する力士徳勝龍の話題に上げながら交流を深めた。



参加者に美味しいちゃんこが振舞われた

## ●● 若手の会 第25回例会 ●●

**奈良のジビエを食べよう！**

「奈良のジビエを食べよう！」をテーマに10月18日(木)午後7時から東京都中央区の奈良まほろば館で開催。奈良県産のシカとイノシシの焼肉を味わった。

第1部は奈良県東京事務所の野村貴浩さんが県内の獣害や狩猟の状況を説明。県内の野生鳥獣による農林業の平成29年度被害額は約1億7200万円で、内訳はイノシシが約57%、ニホンジカが約23%。他にニホンザルやアライグマ、鳥類を挙げた。電気柵などの侵入防止柵を使い物理的に農地侵入を防ぐ対策や、地域を挙げての追い払い活動などが行われているが十分ではなく、イノシシとニホンジカの個体数は増加傾向にある。そこで、捕獲した野生動物を地域の資源に活用しようと奈良県内で捕獲され一定の条件を満たすものを「ならジビエ」と定義。「ならジビエ」を使用するなど一定の条件を満たす飲食店を「ならジビエ提供店」として登録する制度を整備し、県産ジビエの消費拡大に取り組んでいるとした。

第2部では塩で味付けし焼いた奈良県産のシカとイノシシ肉を食しながら古里の話に花を咲かせた。



参加者に奈良県産ジビエが振舞われた

## ●● 若手の会 第26回例会 ●●

**塩崎祥平監督が新作「かぞくわり」を語る**

大和郡山市出身の映画監督塩崎祥平さん(39)が奈良県中和地域を舞台に撮影し来年1月に公開する新作映画「かぞくわり」を語る講演会を12月3日(月)午後7時、東京都中央区の奈良まほろば館で開催した。約70人が参加した。

映画は民俗学者の折口信夫が当麻寺(葛城市)に伝わる中将姫の伝説を描いた物語『死者の書』から着想を得て塩崎監督が書き下ろした。中和地域のニュータウンで暮らす平凡な家族を中心に現代日本がかかえる課題をファンタジーをまじえて描いた作品。東京で活動していた塩崎さんは広陵町に移住し1年半にわたって中和地域を巡り構想を練ったという。塩崎さんは「奈良を舞台に家族や社会のあり方を描いた。ぜひ多くの人に観てもらいたい」と呼びかけた。その後の交流会では葛城市の地酒や「中将餅」が振舞われ、塩崎監督を囲んで映画談義に花が咲いた。

映画は来年1月19日から東京・有楽町スバル座で公開する。初日には塩崎監督や出演者の舞台挨拶があり、県人会は鑑賞会ツアーを企画する予定。(詳細決まり次第、県人会HPなどで告知します。)前売り券はまほろば館にて販売しております。詳しくは本号「奈良まほろば館からのお知らせ」をご覧ください。



新作「かぞくわり」を語る塩崎祥平監督

## ●● 「ときのもり」からのお知らせ ●●

※県人会会員証割引対象店

平成28年1月に東京都港区白金台にオープンした奈良の「食」と「魅力」の発信拠点。

**■レストラン“シエル エ ソル”から**

「大和まな」や「味間(あじま)いも」などの大和野菜をはじめ、奈良県産の食材をふんだんに使い、奈良の歴史や風景が感じられるフレンチをお楽しみください。ご来店をお待ちしています。年末は12月30日のディナーまで、年始は1月4日のディナーから営業します。

お問い合わせ シエル エ ソル 電話番号：03-6721-7110

**■カフェ&ショップ“LIVRER リヴレ”から**

毎月第2・第4土曜日開催の「ときのもりマルシェ」が好評です。奈良から届く季節の新鮮な大和野菜や果物、こだわりのパン、マルシェ限定のお菓子などが「ときのもり」の軒先に並びます。ふるさとの奈良を感じに是非お越しください。年末は12月30日の16時まで、年始は1月5日11時から営業します。

お問い合わせ LIVRER (リヴレ) 電話番号：03-6277-2606

〒108-0071東京都港区白金台5-17-10

都営三田線・東京メトロ南北線「白金台駅」1番出口より徒歩4分

## ●● 奈良まほろば館からのお知らせ ●●

※ 県人会会員証割引対象店

## ■ 年末イベント

～梅乃宿酒造の試飲・販売会～

12月29日(土)～30日(日)、各日13時～18時

## ■ 年始イベント

～福袋販売～

1月4日(金)10時30分～

数量限定で福袋を販売します。何が入っているかは楽しみ!(1袋2,000円)※なくなり次第販売終了

～奈良の地酒 呑み比べ～

1月4日(金)～1月6日(日)12時～17時

清酒発祥の地 奈良の地酒の呑み比べを楽しんでいただけます。(1セット3種500円)

～大和の雑煮販売～

1月4日(金)～1月6日(日)12時～17時

白味噌のお雑煮に、焼いた丸餅を入れ、餅は椀から取り出し、きな粉につけて食べる奈良の伝統的な雑煮をご賞味ください!(1杯500円)

## ■ 冬季限定スイーツ『キャラメ芋』の販売[土日祝のみワンコイン]

季節限定ワンコイン(500円)販売。まほろば館オリジナルスイーツが好評です。冬季は、キャラメルを乗せた焼き芋をバーナーで焼き、奈良県産の柿ピューレをかけ、アイスクリームを添えた『キャラメ芋』。是非ご賞味ください。

## ■ 映画「かぞくわり」前売り券の販売 1,400円

平成31年1月19日(土)から、大和郡山市出身の塩崎祥平監督の映画「かぞくわり」が、東京・有楽町スバル座を皮切りに公開されます。奈良・中和地域を舞台に新興住宅街に暮らす平凡な家族に起こる出来事を奈良の歴史とファンタジーを交えて軽妙に描く本格長編映画です。出演は陽月華さん、小日向文世さんと竹下景子さんら。奈良まほろば館では、映画「かぞくわり」前売り券を1,400円(当日券1,800円)で販売しています。是非ご利用ください。

## ■ 奈良まほろば館 入館者250万人達成!

奈良まほろば館は、平成21年4月4日に開館し、平成30年12月1日250万人目のお客様を迎えることができました。県人会の皆様を始め、奈良を愛する皆様のおかげと感謝しております。心より御礼申し上げます。また、平成31年4月には開館10周年を迎えます。現在10周年記念イベントを企画中です。お楽しみに。引き続き奈良まほろば館をご最厚いただきますよう、よろしく申し上げます。

〒103-0022

東京都中央区日本橋室町1-6-2 日本橋室町162ビル1F・2F

【開館時間】10時30分～19時 【休館日】12月31日～1月3日

TEL:03-3516-3931 FAX:03-3516-3932

1Fショップ直通:03-3516-3933

東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前駅」(A1出口上がってすぐ)

東京駅八重洲口からメトロリンク日本橋(無料巡回バス)で5分「地下鉄三越前駅」下車



奈良まほろば館250万人達成

## ●● 平成30年度東京奈良県人会賀詞交歓会開催のお知らせ ●●

毎年恒例の新年を祝う会です。豪華景品が当たる抽選会もあります。ご友人などお誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

日時:平成31年1月16日(水)18時30分～

会場:シェラトン都ホテル東京 東京都港区白金台1-1-50

会費:7000円

参加申込:東京奈良県人会(03-5210-2838)へお申し込みください。

## ●● 会費納入のお願い ●●

年会費未納の方には振込用紙を同封していますので、お振込をお願いします。

## [振込先]

ゆうちょ銀行 郵便局用振替用紙(口座番号等:00170-2-323480)

※他金融機関からの振込の場合は〇一九(ゼロイチキョウ)店 (当)0323480

南都銀行 東京支店(普)2002626

一般社団法人東京奈良県人会

## [年会費]

一般会員:3千円

参与会員:1万円

賛助会員:1口2万円×2口以上